

エピ通信

2016年9月発行 No. 103号

「大地に芽生えて豊かに稔る」 “エピ”はフランス語で“麦の穂”の意味です。

子ども絵画教室アトリエ・エピ 森敏子 森健太郎

携帯090-8950-3011 メールa-epi@zb.ztv.ne.jp ホームページ<http://www.a-epi.jp>

●「アトリエ・エピ表現展」を開催します。

11月5日（土）～20日（日） 午前10時から午後7時まで 鈴鹿市算所 鈴鹿ハンター 2階「ギャラリー ふくろうの森」にて毎年恒例の作品展を開催します。子どもたちの色彩豊かでピュアな絵画の世界をお楽しみ下さい。6日（日）午後1時から、作者が出品作を説明するギャラリートークを行います。その後、鈴鹿在住で活躍している加藤みきおさんとひろみちくんの親子による大道芸ショーを開催します。無料ですので、出品していない皆さんもぜひお越しください。

●コラム「子どもたちは、絵を描くことやモノを創ることを通して、何を得ているのでしょうか」

私は、長年アトリエ・エピの子どもたちと接し、次のように考えています。そもそも、子どもの絵は心の“つぶやき”（呟き）が表現となって溢れてくるものです。「物を見て写すこと＝絵を描くこと」と思われているかも知れませんが、写実的な作品であっても、心が投影されているのです。子どもたちは、画用紙に向かいながら、線を引き、色をのせながら、世界にたった一つだけの自分だけの表現を得ています。描くことによって自分と向き合い、自身に話しかけ、そして、どんどん「自分を好きになっていく」のです。この心の動きこそが、出来上がった作品自体の表面的な良さに加え、絵を描くことの本当の意味だと思えます。どうぞ、お子さんをたくさん認めて励まし、作品はお家で展示してあげてください。

●日本美術教育学会で研究発表しました。

去る8月10日、第65回日本教育美術学会 滋賀大会で研究発表をしました。テーマは「地域の子どもたちとともに／アトリエ・エピの35年」です。多くの先生方からお褒めの言葉を頂き、また新たな気持ちで取り組んで行こうと思えます。

●10月から12月までの開講日

開講時間

- 月曜日/午後4時から
- 水曜日/午後3時から ※水曜日のみ午後4時までの好きな時間に入室下さい。入室時間から75分後にお迎えに来てください（園児は60分をお願いいたします）。
- 土曜日/午前10時から・午後1時30分から・午後3時から
- 日曜日/午後1時30分から

10月		
水	土	日
	8	
12	15	16
19	22	
26	29	

11月		
水	土	日
	5	
9	12	
16	19	20
	26	
30		

12月		
水	土	日
	3	
7	10	
14	17	18
21	24	